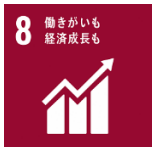


武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	市民なやみごと相談 係 内線 155
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法		
目的	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、最終目標である就労への道筋をつけることを目的とする。		SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も	
内容	直ちに就労を開始することが難しい生活困窮者及び生活保護受給者に対して、個々の状態に応じた生活指導や社会参加訓練を実施する。 また、就労の開始に限らず障害認定を支援するなど、各種福祉制度を活用して利用者を社会的に自立させることも本事業に含まれる。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	就労準備等支援事業実施者数	人
			実績	3	3	
			達成率	100%	100%	
2	就労準備等支援事業継続者数	人	目標	3	3	3
			実績	2	3	
			達成率	67%	100%	

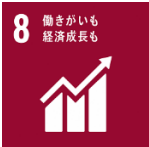
事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		3,498	3,498	3,498	
財源内訳	一般財源	1,166	1,166	1,166	
	国都支出金	2,332	2,332	2,332	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		3,498	3,498	3,498	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新規利用者1名、継続利用者2名であった。	ひきこもりなどにより、就労準備支援であっても参加できない市民をいかに掘り起こしていくかが課題である。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
生活困窮者自立支援法における任意事業であり、本事業により制度を利用する市民の居場所づくりに役立っている側面がある。 事業委託として令和8年3月まで契約を締結しており、引き続き就労の支援を行うため現状維持とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉				
	所管部署	健康福祉 部	生活福祉 課	保護第一・保護第二・経理・医療 係	内線	163
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法				
目的	生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身につけ安定的な就労に就き、自立を図ることを目的とする。				SDGsの取組 8 働きがいも経済成長も 	
内容	平成28年10月から事業委託により、福祉総務課（生活困窮者が対象）と共同実施するもの。被保護者に対する就労準備支援等事業（支援の開始、支援計画の作成等、支援活動の報告等、支援の連携、連絡会議の実施、日常生活自立の関する支援、社会生活自立に関する支援、就労自立に関する支援）を実施する。					

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	就労自立支援により就職した人数	人	目標	5	7	6
				実績	2	4	
				達成率	40%	57%	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		3,498	3,498	3,498
財源内訳	一般財源	1,166	1,166	1,166
	国都支出金	2,332	2,332	2,332
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		3,498	3,498	3,498


市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	有効性	効率性
	市の関与は必要か 市民のニーズに適合しているか 市民との協働により事業を実施しているか 廃止・休止した場合の市民への影響 受益者負担は適切か 施策への貢献度は適切か 民間委託等は可能か 事業費の更なる削減は可能か 類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である <input checked="" type="checkbox"/> 適合している <input type="checkbox"/> 実施している <input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい <input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 困難である <input checked="" type="checkbox"/> 困難である <input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
【支援実績】 ●生活自立支援：28人 ●社会自立支援：1人 ●就労自立支援：7人 ●被支援者合計：36人 ※就労自立支援者7人のうち4人が就労決定	目標は、全ての生活困窮者及び被保護者が、本事業により社会生活を身に付け、就労により自立することを目指すものであるが、支援対象者の中には、引きこもり等が長期間にわたる場合があり、長期的な支援が必要である。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 今後も、生活困窮者及び被保護者が、就労のための基礎能力を身につけ安定的な就労に就き、自立を図るため、「生活自立支援」、「社会自立支援」、「就労自立支援」を適切に行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> （廃止・休止・終了の場合は記入不要）	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	権利擁護推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 1 地域福祉		
	所管部署	健康福祉 部	福祉総務 課	福祉総務 係 内線 152
	根拠法令等	成年後見制度の利用の促進に関する法律		
	目的	全ての人の権利と利益が守られ、住み慣れた地域の中で、安心、快適に暮らしていけるまちづくりを推進する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を
内容	福祉サービスの利用援助、福祉サービス利用者等からの苦情対応、認知症高齢者、知的障害者等の権利擁護、成年後見制度の利用支援など、福祉サービス利用者等に対する支援の充実を図る。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	福祉サービス総合支援事業における新規相談件数	件	目標	106	74	111
				実績	74	111	
達成率				70%	150%		
2	成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援の新規相談件数	件	目標	63	65	94	
			実績	65	94		
			達成率	103%	145%		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		16,560	19,486	19,605
財源内訳	一般財源	9,563	11,735	11,854
	国都支出金	6,997	7,751	7,751
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	406	479	459
	所要人員(人)	0.05	0.06	0.06
	会計年度任用職員(千円)	13	14	15
	所要人員(人)	0.01	0.01	0.01
合計(事業費+人件費)		16,979	19,979	20,079

市民・議会等から寄せられた意見


令和2年3月に報告した「市民意識調査報告書」において、地域福祉権利擁護事業については名称も内容も知らないと回答した市民の割合が最も高くなった。このことから、制度周知をより強化していく必要があると考えている。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>福祉サービス総合支援事業については、合計相談件数が3,239件であり、そのうち111件が新規相談として受理をしており、令和元年度及び令和2年度と比較しても本制度の新規利用者が増加している。</p> <p>成年後見活用あんしん生活創造事業における利用手続支援件数については、合計相談件数が3,251件であり、そのうち94件が新規相談として受理をしており、令和元年度及び令和2年度と比較しても本制度の新規利用者が増加している。</p>	<p>権利擁護制度を必要としている全ての人に対して内容が行き届いているか、関係機関との連携が果たされているかなど、様々な課題があることから、中核機関の設置を早期実現するため、検討を進めていく必要がある。</p>

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
「第五次地域福祉計画」に内包する「武蔵村山市成年後見制度利用促進基本計画」において、地域連携ネットワークの構築と成年後見制度利用促進に係る中核機関を設置することを定めていることから、関係機関と協議を進め、計画の推進を図っていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	休日保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども子育て支援法、みらい保育園休日保育実施要項		
	目的	日曜日等の休日に、保護者の就労のため保育を必要とする子どもへの対応並びに保護者の子育て及び就労支援を目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 
内容	休日保育の利用時間は、本市の保育認定に応じて、日曜日（祝祭日は準備ができ次第の受け入れ）の7時～18時の間で保育を必要とする時間とする（年末年始は除く。）。また、定員は10名とし、利用料金は徴収しない。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
				1	休日保育の実施設数	施設	目標	1	1	1
								実績	1	1
達成率	100%	100%								
2	休日保育（定員10名）の延べ利用人数	人	目標	60	60	60				
				実績	8	14				
				達成率	13%	23%				


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見			
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）	3,346	3,328	3,332	-			
財源内訳	一般財源	833	1,186				829
	国都支出金	2,330	1,996				2,294
	その他	183	146				209
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	53	52				50
	所要人員（人）	0.01	0.01				0.01
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00				
合計（事業費+人件費）	3,399	3,380	3,382				

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
令和3年度の延べ利用者数は14名であり、令和2年度の8名から増加した。	-

令和4年度の方針																										
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																										
令和2年度よりみらい保育園で開始した事業であり、休日の保育利用を必要とする保護者が一定数いることから就労支援の一環で実施している。保護者は平日勤務が多く、休日の保育利用は平日と比べて、極端に減るものの、需要があることから、今後も本事業の環境を保持し、引き続き保育園に事業運営の継続を求めていく。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																										

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（家事育児サポーター研修事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	—		
目的	乳児期の子どもを育てる家庭や多胎児家庭に寄り添った適切な支援ができる家事育児サポーターを養成するため、研修を実施する。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	対象：子育て支援に関心のある方 定員：40人 場所：緑が丘ふれあいセンターほか			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	研修の受講者数	人
			実績	29	30	
			達成率	145%	75%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
事業費（千円）				887			4,418			1,803		
財源内訳	一般財源	0		0		0						
	国都支出金	887		4,418		1,803						
	その他	0		0		0						
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	812		798		765						
	所要人員（人）	0.10		0.10		0.10						
	会計年度任用職員（千円）	0		0		0						
	所要人員（人）	0.00		0.00		0.00						
合計（事業費+人件費）				1,699			5,216			2,568		

市民・議会等から寄せられた意見


—

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input type="checkbox"/> 必要である	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●第1回研修 令和3年9月から同年11月まで（全12回） 受講者数18人 ●第2回研修 令和4年1月から同年3月まで（全12回） 受講者数12人 受講料 1,000円（テキスト代）	令和3年度に実施した研修は、2回とも定員割れが生じた。

令和4年度の方針																									
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
令和4年度の研修は、令和3年度の課題を踏まえ、令和2年度から2年間実施した研修の受講者を対象として、より高度な知識や技能を習得するため、フォローアップ研修を実施する。 なお、本研修を2年間実施したことにより、本市における家事育児サポーター事業の実施に必要なサポーター数を確保できたことから、令和5年度以降の事業は、休止とする予定である。																									
<table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th colspan="4">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="4">コスト</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
今後の方針																									
コスト																									
	削減	維持	増加																						
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
（廃止・休止・終了の場合は記入不要）																									

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（産後ケア事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	母子保健法		
目的	家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える生後6か月以内の乳児とその母親を対象に、母親の身体的回復や心理的な安定を促進することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本市における産後ケア事業は、短期入所事業、通所事業及び居宅訪問事業の3つの事業を実施する。居宅訪問事業は令和4年6月から実施し、短期入所事業及び通所事業は同年9月から実施予定である。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	短期入所事業、通所事業、居宅訪問事業の事業利用者延べ人数	人	目標	—	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—
2	—	—	実績	—	—	—
			達成率	—	—	—
			目標	—	—	—


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		0	0	6,009		令和3年第2回市議会定例会で、産後の母親等に対するケアの重要性について一般質問があった。
財源内訳	一般財源	-	-	0		
	国都支出金	-	-	6,009		
	その他	-	-	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	798	3,821		
	所要人員（人）	0.00	0.10	0.50		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		0	798	9,830		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度から新たに実施する事業であるため、令和3年度の実績なし。 なお、会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	令和4年度から新たに実施する事業であるため、特になし。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>母子保健法の一部を改正する法律（令和3年4月1日施行）第17条の2の規定により、産後ケア事業の実施が、市町村の努力義務として法定化された。</p> <p>近年、核家族化や晩婚化、若年妊娠等によって、産前産後の身体的、精神的に不安定な時期に家族等の身近な人の助けが十分に得られず、不安や孤立感を抱いたり、うつ状態の中で育児を行う母親が少なからず存在している状況にあることから、本事業は今後も継続して実施する必要があると考える。</p> <p>なお、法律上は生後1年を経過しない乳児及びその母親を対象としていることから、今後、対象者の拡大について、検討を進める。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
	成果	向上			○																			
維持																								
低下																								
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（出産・子育て応援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市出産・子育て応援事業実施要綱		
目的	市内の全ての子育て家庭に対して妊娠期から保健師等が面接、相談等を行い、出産・子育てに関する不安を軽減することを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	●妊婦の心身の状態及び家庭状況を把握するため、母子健康手帳交付時に妊婦の全数面接を実施する。 ●面接を受けた妊婦に対し、子育て用品等の育児パッケージを配布する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	妊婦の面接者数	人
			実績	407	394	
			達成率	83%	86%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費（千円）	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	2,809	1,105	404			
国都支出金	17,550	15,004	13,320			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
会計年度任用職員（千円）	0	0	0			
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00			
合計（事業費+人件費）	20,359	16,109	13,724			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input type="checkbox"/> 市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input type="checkbox"/> 受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	<input type="checkbox"/> 類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度は、394人に母子健康手帳を交付し、同数の面接を実施した。 また、面接を受けた妊婦を対象として、1万円分の育児パッケージを配布した。 なお、正規職員人件費及び会計年度任用職員人件費は、事業費に含む。	課題は特にないが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、妊娠届出者数が減少している（令和元年度：484人、令和2年度：407人、令和3年度：394人）。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
今後も、妊婦の全数面接を継続する。 なお、面接により、産後の支援が必要な方を把握したときは、令和4年度から開始する産後ケア事業につなげていく取組を進める。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	とうきょうママパパ応援事業（多胎児家庭支援事業）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども子育て支援 課	母子保健 係 内線 621
	根拠法令等	武蔵村山市多胎児家庭家事育児サポーター事業実施要綱 武蔵村山市多胎児家庭移動経費支援事業実施要綱		
目的	多胎児を養育する家庭を対象として、家事育児サポーターによる育児等の支援を行うほか、母子保健事業等を利用する際の移動費用の一部を助成し、多胎児家庭の育児等の負担を軽減することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	家事育児サポーターの利用時間の上限は、1歳未満240時間、2歳未満180時間、3歳未満120時間である。移動経費の助成は、1年間に支出したタクシー料金の実支出額と24,000円を比較していずれか低い額を助成する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	家事育児サポーター事業利用者数	組
			実績	0	2	
			達成率	—	20%	
2	移動経費支援事業利用者数	組	目標	10	10	9
			実績	1	0	
			達成率	10%	0%	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		3	363	302	
財源内訳	一般財源	0	0	0	
	国都支出金	3	284	236	
	その他	0	79	66	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	244	1,037	994	
	所要人員（人）	0.03	0.13	0.13	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		247	1,400	1,296	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●家事育児サポーター利用者数 2組 (内訳：1歳未満1組、2歳未満0組、3歳未満1組) ●家事育児サポーター利用時間 158時間 (内訳：1歳未満90時間、3歳未満68時間) ●移動経費支援事業利用者数 0組 	移動経費支援事業は令和2年11月から、家事育児サポーター事業は令和3年10月から開始した事業であるが、両事業とも実績が目標値を下回っている。 母子健康手帳の交付時に対象者に対して事業の周知を図っているが、今後も事業の周知に努め、利用者数の増加を図る必要がある。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
本事業は、同時に2人以上を育児することに伴う身体的、精神的、経済的負担を軽減し、多胎児家庭が安心して子育てをする環境を整備するために必要な事業であり、今後も制度の周知に努め、事業を継続して実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	病児保育事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法 子ども・子育て支援法		
目的	病中又は病気の回復期にあって集団保育を受けることが困難な期間にある児童を、医療機関併設の専用施設において一時的な保育を行うことにより、児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	体温の管理等により、児童の健康状態を的確に把握するとともに、当該児童の状態に応じ、安静を保てるような処遇をすることにより、病気の回復期にある児童に対して適切な保育を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	病児保育の延べ利用人数	人
			実績	88	311	
			達成率	21%	72%	
2			目標	—	—	
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		10,302	10,732	11,136		令和3年第3回市議会決算特別委員会等において、病児保育の取り組みの充実に向けた意見があった。
財源内訳	一般財源	2,918	1,228	2,044		
	国都支出金	7,384	9,504	9,092		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	447	439	421		
	所要人員(人)	0.06	0.06	0.06		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		10,749	11,171	11,557		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、利用実績が著減したものの、令和3年度は徐々に回復しつつある。	今後も、子ども家庭支援センター事務の中で、本事業の普及啓発に努める必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																								
本事業は、児童福祉法第6条の3第13項及び子ども・子育て支援法第59条に基づいて実施しており、病児保育の実施を通じて児童の健全な育成及び資質の向上に寄与するとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的としていることから、今後も引き続き継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	巡回指導・相談事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育所等巡回指導・相談事業実施要綱		
目的	保育所や幼稚園に在籍する発達障害等を有すると思われる児童等の保育・教育を支援するため、相談員（学識経験者、臨床心理士等）が保育所や幼稚園での児童の状況等を観察の上、関係職員に具体的な指導方針等について助言や相談などを行う。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	市内の幼稚園4園、認可保育所13園、認証保育所1園を対象に実施する。なお、令和4年度から上記18施設に小規模保育所1園を対象に加えて実施する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業実施施設数	施設
			実績	14	14	
			達成率	78%	78%	
2	指導・相談延べ回数	回	目標	80	80	80
			実績	48	58	
			達成率	60%	73%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費（千円）	1,187	1,586	2,280	-					
財源内訳	一般財源	12	260				438		
	国都支出金	1,175	1,326				1,842		
	その他	0	0				0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,514	2,470				2,367		
	所要人員（人）	0.31	0.31				0.31		
	会計年度任用職員（千円）	0	0				0		
	所要人員（人）	0.00	0.00				0.00		
合計（事業費+人件費）	3,701	4,056	4,647						

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
対象施設：14施設 巡回指導・相談件数：58回	発達が気になる子どもの入所は増加傾向にあることから、今後は保育士への支援だけでなく、保護者への支援が重要となるため、家庭との連携が円滑になるよう、働きかけて行く必要がある。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
毎年、14施設が巡回相談を利用しており、訪問回数も約50回から60回に及んでいる。巡回相談は、相談員（学識経験者、臨床心理士等）の専門的な見地から指導方針等について具体的な助言や相談などを行っており、保育の質の向上に貢献していることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもショートステイ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法		
目的	保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合や、経済的な理由により緊急一時的に当該児童を保護することが必要な場合等に養育及び保護を行うことを目的に実施する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	本事業を実施する当たり、児童養護施設を有する社会福祉法人に委託し、主に以下の内容を行う。 ①食事の提供及び身の回りの世話に関すること。 ②遊び、学習等の生活指導に関すること。 ③通園又は通学の援助に関すること。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	ショートステイの利用日数(延べ日数)	日	目標	148	149
			実績	137	80	
			達成率	93%	54%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		3,249	3,147	3,206
財源内訳	一般財源	1,345	1,862	1,074
	国都支出金	1,904	1,285	2,132
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	731	718	688
	所要人員(人)	0.09	0.09	0.09
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,980	3,865	3,894

市民・議会等から寄せられた意見	
国や東京都が掲げる子ども・子育て施策においても、児童虐待防止、要保護児童の緊急保護等のため、当該事業の充実を求められているところである。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設側の感染症対応及び利用者の利用控えにより、利用実績が著減したものと考えられる。	真に本事業の利用を必要とする児童が、適切に利用することができるように、事業の普及啓発はもちろんのこと、子ども家庭支援機能を活用し、潜在的なニーズを引き出し、事業に結び付ける必要がある。

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、児童福祉法第6条の3第13項及び子ども・子育て支援法第59条に基づいて平成22年度から開始しており、保護者が家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合等に児童の養護、保護等を行うことを目的としていることから、今後も引き続き事業を実施する必要がある。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	保育コンシェルジュ事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	子ども・子育て支援事業計画		
	目的	子育て家庭の「個別ニーズ」を把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用を目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	平成28年度から実施しており、職員1人及び保育コンシェルジュ会計年度任用職員1人の合計2人を配置している。			



評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				1	相談件数	人	目標	—	—
							実績	8	42
達成率	—	—							
2	—	—	目標	—	—				
			実績	—	—				
			達成率	—	—				

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		2,225	2,643	3,233
財源内訳	一般財源	2,225	2,643	1,863
	国都支出金	0	0	0
	その他	0	0	1,370
会計年度任用職員以外の職員(千円)		1,152	1,133	1,085
人件費	所要人員(人)	0.14	0.14	0.14
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		3,377	3,776	4,318

市民・議会等から寄せられた意見	
—	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>相談件数42件</p> <p>通常の窓口対応(入所に関する相談)は、子ども青少年事務の会計年度任用職員を含めて全員で対応するが、母子相談員への相談や、子ども家庭支援センターとの連携が必要と思われる家庭内トラブル等を抱える家庭の場合は、保育コンシェルジュが担当し、関係機関等との連絡、調整を行うことにより効果的な保護者への支援をしている。</p>	—

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>令和3年度は保育所の対応に関する相談、家庭内トラブルに関する相談等の件数が42件であり、前年度と比較し34件増えていることから本事業のニーズは非常に高い。</p> <p>また、共働き世帯の増加等を要因として今後も保育需要は高いものと想定されることから、保護者のニーズを的確に把握し、保育サービスを提供するとともに、子ども家庭支援センターと連携し、家庭内トラブルの解決に結びつけるような支援は今後も必要であるため、本事業を継続していく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもカフェ運営事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部 子ども子育て支援 課 子ども家庭支援センター 係 内線 621		
	根拠法令等	武蔵村山市子どもカフェ事業実施要綱 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画		
	目的	乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場を提供する子どもカフェ事業を実施することにより、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的とする。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	以下の事業を行う。 (1)乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流を図る場の提供 (2)子育てに関する相談の受付及び対応、子育て関連情報の収集及び提供 (3)利用者交流会等の開催			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	開催回数	回
			実績	116	141	
			達成率	97%	118%	
2	参加者数	人	目標	1200	1200	1400
			実績	1121	1140	
			達成率	93%	95%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		4,780	4,780	4,840
財源内訳	一般財源	2,390	2,390	2,459
	国都支出金	2,390	2,390	2,381
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	325	320	306
	所要人員(人)	0.04	0.04	0.04
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00
合計(事業費+人件費)		5,105	5,100	5,146

市民・議会等から寄せられた意見


市民と市長のタウンミーティングにおいて、市民から「子育て中の保護者が気軽に交流し、育児の疲れを癒してリフレッシュできる場を作っていただきたい」と、本事業の開始を要望された経緯がある。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響もある中、おおむね目標どおりの開催回数及び参加者数の実績であった。	現在、民家を委託法人が賃借して実施しているが、事業継続には貸主の今後の契約に係る意向や民家の老朽化に伴う補修の必要性があり、その経費負担も見込まれる。 今後の安定した事業運営に際しては、適切な拠点の確保が必要となるものと考えられる。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
<p>本事業は、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場として子どもカフェを運営するものであり、乳幼児に安全な遊び場を提供するとともに、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、もって児童福祉の向上及び子育て世代の負担の軽減を図ることを目的としているため、今後も引き続き事業を実施する必要がある。</p> <p>なお、行政評価の評価結果に対する行政評価委員会からの意見を受け、令和4年度に本市西部地区に子どもカフェを試行実施する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
	今後の方針		コスト																					
			削減	維持	増加																			
	成果	向上		○																				
維持																								
低下																								

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	認可外保育施設利用支援事業補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山市認可外保育施設利用支援事業補助金交付要綱、東京都認可外保育施設利用支援事業補助要綱、保育所等利用多子世帯負担軽減事業費補助金		
	目的	認証保育所等を利用する児童の保護者に対し、補助金を交付することにより、経済的負担を軽減し、もって児童福祉の増進に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	【利用者支援】保護者の市町村民税所得割課税額により50,000円から20,000円の範囲内で補助する。(市町村民税所得割課税額が143,400円以上の保護者及び無償化給付対象児童は対象外) / 【多子世帯支援】保育料から無償化の給付額(非課税世帯に属する0~2歳児:42,000円、3~5歳児:37,000円)を引いた金額と多子世帯支援の補助金額を比べていずれか低い金額を補助する。			
対象(交付先)	認証保育所を利用する児童の保護者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	利用者負担軽減延べ児童者数	人
			実績	36	50	
			達成率	30%	42%	
2	多子世帯の延べ児童者数	人	目標	108	108	108
			実績	21	55	
			達成率	19%	51%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	785	1,547	4,800		-
一般財源	206	288	1,200		
国都支出金	579	1,259	3,600		
その他	0	0	0		
人件費	419	412	395		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0		
所要人員(人)	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
合計(補助金+人件費)	1,204	1,959	5,195		-

交付団体等の決算予算の状況	令和2年度決算				令和3年度決算				令和4年度予算				
	総額(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市補助金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
繰越金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業収入	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総額(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費、飲食費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人件費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業経費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-


交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
交付金額(千円)	1,547
使途内訳	
割合(%)	
団体収入に占める補助金の割合	-
団体収入に占める繰越金の割合	-
交付金額に対する繰越金の割合	-

視点別の分析	市の関与は必要か				
	必要である	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
一般市民にも間接的な受益があるか	<input type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>
補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>
補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>

令和3年度の実績	補助金交付に当たった課題
令和3年度は令和2年度補助実績に比べおおむね倍以上の伸び率となった。	-

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
多様な保育ニーズに対応するため、認可外保育施設の利用者も増加傾向にあると思われる。多子世帯や認証保育所を利用する児童の保護者に対する経済的負担の軽減を図る観点からも、子ども子育て支援の一環として本補助金は必要である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
	(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（乳幼児分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
目的	乳幼児の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 		
内容	乳幼児（6歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—	—
				実績	3,744	3,645	
達成率				—	—		
2	助成金額	円	目標	—	—	—	
			実績	93,938,362	119,440,414		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見				
		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算				
事業費（千円）		108,812	135,258	149,693	—			
財源内訳	一般財源	57,028	70,977	77,894				
	国都支出金	51,784	64,281	71,799				
	その他	0	0	0				
会計年度任用職員以外の職員（千円）		8,116	7,976	7,642				
人件費	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00				
	会計年度任用職員（千円）	1,287	1,343	1,432				
	所要人員（人）	1.00	1.00	1.00				
合計（事業費+人件費）		118,215	144,577	158,767				


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施していない	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難でない	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：119,440,414円 審査支払委託料：3,521,200円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和2年度と比較して約27%増額となったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響により受診を控える傾向にあったため、医療費が大きく減少したことによるものである。	—

令和4年度の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、乳幼児の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、乳幼児の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	子どもの医療費助成事業（学齢児童分）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	手当・青少年 係 内線 185
	根拠法令等	武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例 武蔵村山市子どもの医療費の助成に関する条例施行規則		
	目的	学齢児童の保健の向上と健やかな育成を図り、もって子育ての支援に資する。	SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を 	
内容	学齢児童（6歳に達する日の翌日以後の4月1日から15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）を養育している者に対して、病院等で診療を受けた場合に、各保険法の規定に基づき窓口で支払う自己負担分を助成する。ただし、通院1回につき200円の自己負担が生じる。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
				1	対象人数（各年度末時点）	人	目標	—	—
							実績	5,540	5,421
達成率	—	—							
2	助成金額	円	目標	—	—				
			実績	118,115,529	125,266,707				
			達成率	—	—				

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費（千円）	132,992	140,892	162,717	—					
財源内訳	一般財源	6,137	1,170				797		
	国都支出金	126,855	139,722				161,920		
	その他	0	0				0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	8,116	7,976				7,642		
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00		
	会計年度任用職員（千円）	1,287	1,343				1,432		
	所要人員（人）	1.00	1.00				1.00		
合計（事業費+人件費）	142,395	150,211	171,791						


視点別の分析	妥当性	市との関係		
		必要か	必要である	見直しの余地がある
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
	効率性	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
医療助成費：125,266,707円 審査支払委託料：3,328,835円 対象人数については、少子化等の影響により減少傾向にある。医療助成費については、令和2年度と比較して約6%増額となったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響により受診を控える傾向にあったため、医療費が大きく減少したことによるものである。	—

令和4年度の方針				
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	
本事業は、学齢児童の医療費を助成することにより、子どもの疾病等の早期発見や治療の促進など、学齢児童の保健の向上と健やかな育成に大きく寄与する事業であることから、今後も継続すべき事業である。 なお、令和5年10月から所得制限を撤廃することにより、子育て支援を更に充実させていく。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			○
維持				
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所施設整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市民間保育所整備助成要綱、武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する施行規則		
	目的	武蔵村山市社会福祉法人が行う保育所の創設や老朽改築による保育環境整備などの施設整備に要する費用について、資金の助成をすることにより、保育所の設置を促進し、待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	新築、増改築及び大規模修繕（国の補助金の対象となるもの）が児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）に適合し、かつ十分な成果が期待し得るものを対象とし、工事費等の総額から寄附金その他の収入を控除した額（施設改善整備は2分の1）と国の補助金の額に1.5を乗じて得た額を比較し、いずれか低い方の額			
対象（交付先）	武蔵村山市社会福祉法人立の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	地域型保育事業（大南つぼみ保育園）の実施設数（第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略に合わせた施設整備）	施設
	2	保育所定員拡大による保育所整備	施設	実績	0	0
				達成率	0%	0%
				目標	2	2
				実績	0	2
				達成率	0%	100%

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	316,275	292,858	0		-
一般財源	30,122	27,928	-		
国都支出金	286,153	264,930	-		
その他	0	0	-		
人件費	4,189	4,117	3,945		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）					
所要人員（人）	0.52	0.52	0.52		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	320,464	296,975	3,945		


収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 292,858
市補助金	-	-	-		事業経費 292,858
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	0	0	0		
総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		

視点別の分析	令和3年度の実績			
	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
継続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

所管課の評価	令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
	令和3年度は、保育所の建替えに伴う定員枠の拡大を行った。ひまわり保育園については、大南3-71-1に移転して新園舎を新設し、定員を100人から104人に増員した。旧園舎では小規模保育所「大南つぼみ保育園」（定員18人）を整備し、令和4年度から開設予定である。みらい保育園については、榎2-36-1に移転して新園舎を新設し、定員を151人から180人に増員した。なお、旧園舎は取り壊した。	-

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
令和3年度に予定していた2か所の民間保育所施設整備を行い、事業を完了した。																						
成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針				コスト		削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
	今後の方針																					
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
向上																						
維持		○																				
低下																						
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所分園運営費補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	令和3年度武蔵村山市民間保育所分園運営費補助金交付要綱		
	目的	賃貸物件を用いた保育所の分園において児童福祉法第39条第2項の規定による保育を行う保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所分園の整備を促進し、もって保育所待機児童の解消に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	保育所分園の設置者が支払った毎月の賃借料の額と150,000円とを比較していずれば少ない額とする。 ※実際の毎月の賃借料：450,000円 建物面積：172.00㎡、敷地面積：654.56㎡			
対象(交付先)	社会福祉法人三宝会 まどか保育園分園(残堀一丁目48番地の3)			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育所分園の設置数	施設
			実績	1	1	
			達成率	100%	100%	
2	保育所分園(定員29名)の入所人数(各3月1日付)	人	目標	29	29	29
			実績	28	29	
			達成率	97%	100%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額(千円)	1,800	1,800	1,800		-
一般財源	1,800	1,800	1,800		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)				他市等の状況
	262	258	247		
所要人員(人)	0.03	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)				-
	0	0	0		
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)	2,062	2,058	2,047		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額(千円)	0	0	0		交付金額(千円) 1,800
市補助金	-	-	-		賃借料 1,800
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額(千円)				割合(%)
交際費、飲食費	-	-	-		団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-		—
事業経費	-	-	-		団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-		—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—


視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
対象：まどか保育園分園 補助額：1,800千円	—

令和4年度の方針																							
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
本補助金は、保育所分園の設置者に対してその賃借料の一部を補助することにより、保育所待機児童の解消に資することを目的としているものである。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針			成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		○		低下			
今後の方針																							
成果	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持		○																					
低下																							
本市の待機児童の状況は、令和3年度の待機児童18人(新定義)であったが、令和4年度は待機児童が0名(新定義)となっており、今後も待機児童を解消していくためには、保育所分園の運営を維持することが望ましく、当該補助金を継続する必要があると考える。																							

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育力強化補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育力強化事業補助金交付要綱、保育力強化事業補助要綱		
	目的	地域の実情に応じた多様な保育ニーズに対応する事業を実施する認証保育所に対し、事業に要する経費を補助することにより、児童福祉の増進を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	障害児保育、アレルギー児対応、外国人児童受入れ、第三者評価審議費等のうち東京都が定める当該年度の「子供家庭支援区市町村包括補助事業における保育力強化事業の算定基準について（通知）」により算出した額の合計額			
対象（交付先）	認証保育所 アレグロバンピーノ			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育力強化事業数	事業
			実績	1	1	
			達成率	20%	20%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
補助金	交付金額（千円）	320	716	1,876	市民・議会等から寄せられた意見							
	一般財源	0	0	0	-							
	国都支出金	320	716	1,876								
	その他	0	0	0								
合計	320	716	1,876									
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	419	412	395	他市等の状況							
	所要人員（人）	0.05	0.05	0.05	-							
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00								
合計（補助金+人件費）	739	1,128	2,271									

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算		
収入	総額（千円）	0	0	0	交付団体等の令和3年度の市補助金の使途							
	市補助金	-	-	-	交付金額（千円）		716					
	会費	-	-	-	人件費		716					
	繰越金	-	-	-	使途内訳							
	事業収入	-	-	-								
	その他	-	-	-								
総額	0	0	0									
支出	総額（千円）	0	0	0	割合（%）							
	交際費、飲食費	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合		-					
	人件費	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合		-					
	事業経費	-	-	-	交付金額に対する繰越金の割合		-					
	その他	-	-	-								

視点別の分析	公益性	有効性	効率性	市の関与は必要か						
				市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	受益がある	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	明確である	<input type="checkbox"/>	不明確な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	効果がある	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
				補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	設定している	<input type="checkbox"/>	設定していない	<input type="checkbox"/>	非該当				
				<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	


令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は令和2年度に比べ倍以上の補助実績となった。	-

令和4年度の方針

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
多様な保育ニーズに対応し、地域の実情に応じた保育サービスの向上を図るため、認証保育所の障害児保育、アレルギー児対応等の取組を今後も支援する必要がある。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育士等キャリアアップ補助事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育士等キャリアアップ補助金交付要綱 保育士等キャリアアップ補助金交付要綱（都）		
	目的	職務内容等に応じた賃金体系を設定し、保育士等の資質向上の計画に沿った研修の実施等を行う認証保育所に対し、保育士等に係る賃金改善に要する費用の一部を補助することにより、保育サービスの質の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	要綱に定めるキャリアパス要件を満たし、補助対象施設・事業に勤務する職員（非常勤職員を含み、経営に携わる法人等の役員である職員を除く。）の人件費のうち、賃金改善に要した費用とする。			
対象（交付先）	認証保育所及び小規模保育事業所（小規模保育事業所は令和4年度から対象）			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育士等の賃金改善した延べ人数	人
			実績	230	144	
			達成率	50%	32%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	5,343	5,628	10,254		-
一般財源	44	0	2,299		
国都支出金	5,299	5,628	7,955		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.10		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	5,762	6,040	11,019		-

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0	0	交付金額（千円） 5,628
市補助金	-	-	-	-	人件費 5,628
会費	-	-	-	-	
繰越金	-	-	-	-	
事業収入	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
支出	総額（千円）				割合（%）
交際費、飲食費	-	-	-	-	団体収入に占める補助金の割合
人件費	-	-	-	-	—
事業経費	-	-	-	-	団体収入に占める繰越金の割合
その他	-	-	-	-	—
					交付金額に対する繰越金の割合
					—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	


令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
延べ144人の保育士の賃金改善を行った。	-

令和4年度の方針

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
保育士等の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の向上を図るため、保育士等のキャリアアップに向けた取組については、今後も実施する必要がある。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員資格取得支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市現任保育従事職員資格取得支援事業補助金交付要綱		
	目的	市内の保育所等が雇用する保育従事職員が保育士資格を取得することを支援することにより、保育士資格取得者の拡充を図り、もって子どもを安心して育てることができる体制を整備することを目的とする		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	保育士資格を有していない保育従事職員のうち、保育士試験を受験するための学習等に要した費用の一部を助成する。 対象経費：受験料（合格者には、教材費及び講習受講料を追加）			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	保育士試験等受験者数	人
			実績	3	5	
			達成率	43%	71%	
2	保育士試験合格者数	人	目標	3	3	3
			実績	0	1	
			達成率	0%	33%	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	18	72	1,370		-
一般財源	0	0	0		
国都支出金	18	72	1,265		
その他	0	0	105		
人件費	419	412	395		他市等の状況
会計年度任用職員以外の職員（千円）					
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	437	484	1,765		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 72
市補助金	-	-	-		その他 72
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	0	0	0		
総額（千円）					
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	


令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
保育士試験等受験者数は、令和2年度は2園3人であったが、令和3年度は2園5人と増加した。	本事業による保育士試験に係る補助は、合格することが要件であり、合格者には、2年分の教材費等が補助対象となるため、常に予算の確保が必要である。

令和4年度の方針

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
今後、保育士の不足が予想される中、保育従事職員の働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの質の低下に対しても対策が必要であることから、保育士の資格取得を支援する本事業は、今後も保育士確保のための取組として必須の事業である。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	保育従事職員宿舍借上支援事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	武蔵村山市保育従事職員宿舍借上支援事業補助金交付要綱		
	目的	保育従事職員のために宿舍の借上げを行う保育事業者に対して、その経費の一部を補助することにより、保育従事職員の確保を図り、もって児童福祉の向上に資することを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	事業者が実際に支出した額から寄附金その他の収入額を差し引いて得た額と、補助対象月数に82,000円を乗じて得た額とを比較していずれか少ない方の額に、8分の7を乗じて得た額			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	宿舍の借上げた保育従事職員数	人
			実績	50	46	
			達成率	83%	77%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	28,125	24,696	39,690		-
一般財源	3,954	3,506	13,230		
国都支出金	24,171	21,190	26,460		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	28,125	24,696	39,690		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途	
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算			
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 24,696	
市補助金	-	-	-		事業経費 24,696	
会費	-	-	-			
繰越金	-	-	-			
事業収入	-	-	-			
その他	-	-	-			
支出	総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	-	-	-			
人件費	-	-	-			
事業経費	-	-	-			
その他	-	-	-			
割合（%）						
団体収入に占める補助金の割合						—
団体収入に占める繰越金の割合						—
交付金額に対する繰越金の割合						—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当	
類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当		

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和2年度は、保育所12か所で対象者50名、令和3年度は、保育所13か所で対象者46名の利用があった。	東京都の時限立法の補助金である。

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

保育所にとって保育士の確保は喫緊の課題であり、保育士の確保が保育園の受入れ児童数に影響を及ぼすことから、民間保育所における保育従事職員の処遇向上を図るため、今後も本事業を継続していく必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（保育士採用助成特別加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	常勤の保育士の確保に係る派遣業者等へ支払う紹介料又はこれに類する経費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員の処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額30万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	市内の民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	確保した常勤保育士数	人
			実績	2	5	
			達成率	25%	63%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	-
			達成率	-	-	-

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	600	1,500	2,400		
一般財源	600	1,500	2,400		
国都支出金	0	0	0		
その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）				他市等の状況
所要人員（人）	0.05	0.05	0.05		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	1,019	1,912	2,795		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		交付金額（千円） 1,500
市補助金	-	-	-		事業経費 1,500
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	総額（千円）	0	0	0	
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		
割合（%）					
団体収入に占める補助金の割合					—
団体収入に占める繰越金の割合					—
交付金額に対する繰越金の割合					—

視点別の分析	内容	評価			
		必要である	見直しの余地がある	非該当	
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
性	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	


令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
補助対象施設数は、令和2年度は2園、令和3年度は3園である。	市内民間保育所から本事業を要望され、平成29年度から実施している。 平成29年度は、東京都市町村総合交付金まちづくり振興割地域特選事業枠による補助を利用したが、平成30年度以降、同補助は「毎年度同一内容で実施されており、定例的であると認められる事業」として採択されないことから、国及び都の補助はない。

令和4年度の方針

【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了
保育士採用募集に伴う紹介料等の一部を助成しているものであり、保育士確保の観点から継続することが望まれる。				
成果	今後の方針			
	コスト			
		削減	維持	増加
	向上			
維持		○		
低下				

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	民間保育所運営費補助事業（医療的ケア児支援加算）		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	保育・幼稚園 係 内線 182
	根拠法令等	民間保育所運営費補助金交付要綱		
	目的	ネブライザー（吸入器）の管理等が必要な医療的ケア児の入所を受け入れた保育園に対し、保健師人件費の一部を補助することにより、保育内容の充実並びに児童及び職員への処遇向上に寄与し、もって児童福祉の向上を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	対象経費算定基準額45万円と実際に事業者が支出した額を比べて低い方の額を補助する。			
対象（交付先）	民間保育所			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	補助対象施設数	園
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

補助金	事業経費				市民・議会等から寄せられた意見
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
交付金額（千円）	0	0	0		
一般財源	-	-	-		
国都支出金	-	-	-		
その他	-	-	-		
人件費	0	0	0		
会計年度任用職員以外の職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（補助金+人件費）	0	0	0		

収入	交付団体等の決算予算の状況				交付団体等の令和3年度の市補助金の使途
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算		
総額（千円）	0	0	0		
市補助金	-	-	-		
会費	-	-	-		
繰越金	-	-	-		
事業収入	-	-	-		
その他	-	-	-		
支出	0	0	0		
総額（千円）	0	0	0		
交際費、飲食費	-	-	-		
人件費	-	-	-		
事業経費	-	-	-		
その他	-	-	-		


視点別の分析	令和3年度の実績			
	補助対象施設数は、令和2年度及び令和3年度ともに実績なし。	当初予算には計上しておらず、補助対象施設で該当のあった場合には、予算を補正して対応する。	必要である	見直しの余地がある
公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所管課の評価	令和3年度の実績		補助金交付に当たっての課題	
		補助対象施設数は、令和2年度及び令和3年度ともに実績なし。	当初予算には計上しておらず、補助対象施設で該当のあった場合には、予算を補正して対応する。	

令和4年度の方針				
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了				
日常的に医療的ケアを必要とする医療的ケア児を受け入れる環境づくりは重要であり、本事業を継続する必要がある。				
今後の方針				
コスト				
削減 維持 増加				
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

（廃止・休止・終了の場合は記入不要）

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	児童館親子ひろば事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援		
	所管部署	子ども家庭 部	子ども青少年 課	児童館 係 外線 565-3825
	根拠法令等	児童福祉法、武蔵村山市立児童館設置条例		
目的	乳幼児とその保護者に交流の場を提供し、居場所づくりや子育て世代の負担軽減等を目的とする。	SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに		
内容	児童館の利用者が比較的少ない時間帯（午前中）を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	事業開催回数	回
			実績	46	48	
			達成率	96%	100%	
2	事業参加者延べ人数	人	目標	1,200	1,200	1,200
			実績	1,078	1,002	
			達成率	90%	84%	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費（千円）		1,822	1,822	1,822
財源内訳	一般財源	911	912	912
	国都支出金	911	910	910
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	105	80	77
	所要人員（人）	0.01	0.01	0.01
	会計年度任用職員（千円）	34	41	43
	所要人員（人）	0.03	0.03	0.03
合計（事業費+人件費）		1,961	1,943	1,942

市民・議会等から寄せられた意見

市民から以下のとおり意見があった。


- 保育士や心理士等経験豊富なスタッフが子どもの悩みについて聞いてくれるので、心が落ち着き安心できることから、場所や回数を増やして欲しい。
- 自宅では経験できない玩具が置いてあり、スタッフが専門的技術を持って子どもと一緒に遊んでくれ、親子で気軽に楽しんでいる。
- 父親も気軽に1人で参加できるので、助かる。
- スタッフが友だちづくりをしてくれるので、1人で来ても安心して再来しなくなる。

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行い、交流や子育て相談ができる児童館親子ひろば事業を全児童館で予定どおり開催した。	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じた上で、参加人数の制限や行事内容の見直しなどの工夫をしながら開催する必要がある。

令和4年度の方針																			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																		
令和3年度は48回実施し、延べ人数1,002人の参加者が集まり非常にニーズが高いことから、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じる必要があるという課題はあるが、今後も本事業を継続していく。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">（廃止・休止・終了の場合は記入不要）</p>	今後の方針		コスト			成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上																		
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新・放課後子ども総合プラン事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 2 子ども・子育て支援			
	所管部署	教育 部	文化振興 課	生涯学習 係	内線 652
	根拠法令等	武蔵村山市放課後子供教室実施要綱			
目的	放課後の余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する。			SDGsの取組 4 質の高い教育をみんなに	
内容	子供たちの安全で健やかな居場所づくりのため、学校給食のある日の放課後に余裕教室等を活用し、地域住民の参加及び協力を得て、午後5時まで、放課後子供教室を運営している。併せて学校と学童クラブが隣接している小学校については、一体型事業の推進をしている。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	放課後子供教室の実施校数	校	目標	9	9	9
				実績	7	7	
達成率				78%	78%		
2	一体型の運営を行う放課後子供教室の設置校数	校	目標	6	6	6	
			実績	5	5		
			達成率	83%	83%		

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費(千円)		29,849	32,760	44,168
財源内訳	一般財源	12,536	15,447	21,767
	国都支出金	17,313	17,313	22,401
	その他	0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,435	2,393	2,293
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30
	会計年度任用職員(千円)	387	403	430
	所要人員(人)	0.30	0.30	0.30
合計(事業費+人件費)		32,671	35,556	46,891


市民・議会等から寄せられた意見	
未実施校である三小及び十小について、令和4年度中に新規開設してほしいとの意見があった。	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
三小及び十小を除く計7校の小学校で放課後子供教室事業を実施した。また、学童クラブとの一体型事業については、学童クラブを敷地内に有する学校を対象に実施の調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施を見送った。	未実施校である三小及び十小の開設については、令和4年度を予定しており、現在、準備を進めているところであるが、事業に従事するコーディネーター、サポーター等の人材が十分に集まっていない状況である。今後の事業推進や安定的な事業の実施に当たり、人材確保が課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で事業を実施しているものの、学校によっては教室内の人口密度が高いところもあり、放課後子供教室の実施場所の確保も課題となっている。

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
未実施校である三小及び十小の開設については、令和4年度を予定しており、開設後は全校での実施を継続していく。また、新型コロナウイルス感染症の予防のため、実施を見送っている学童クラブとの一体型事業についても、感染状況を踏まえ、可能な限り実施できるよう検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																								

武蔵村山市 令和4年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	老人福祉施設整備費助成事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉部	高齢福祉課	管理係 内線 632
	根拠法令等	①武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例、②武蔵村山市社会福祉法人に対する助成に関する条例施行規則、③武蔵村山市老人福祉施設等整備助成要綱、④令和4年度地域密着型サービス等整備助成事業補助金交付要綱、⑤令和4年度東京都介護施設等の施設開設準備経費等支援事業補助金交付要綱		
	目的	在宅での介護が困難な高齢者が、身近な施設を利用できるように民間活力を導入しながら、老人福祉施設の整備を促進する。また、社会的援護を必要とする高齢者の増加に伴い、地域の中で生活ができるよう地域密着型サービスの充実を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を補助するものである。定期巡回・随時対応型訪問介護看護を開始する事業者を公募により指定を行い、開設に係る経費を補助するもの。			
対象（交付先）	社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホームむさし村山苑、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を新規開設する事業者			

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	市内の特別養護老人ホーム3施設（伊奈平苑、サンシャインホーム、むさし村山苑）のうち1施設	施設
			実績	1	1	1
			達成率	100%	100%	100%
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の新規開設	施設	目標	1	1	1
			実績	0	0	0
			達成率	0%	0%	0%

事業経費				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
補助金	交付金額（千円）			9,553	9,553	9,553
	一般財源			9,553	9,553	9,553
	国都支出金			0	0	0
	その他			0	0	0
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			731	80	459
	所要人員（人）			0.09	0.01	0.06
	会計年度任用職員（千円）			0	0	0
	所要人員（人）			0.00	0.00	0.00
合計（補助金+人件費）				10,284	9,633	10,012

市民・議会等から寄せられた意見

—

他市等の状況

近隣市（東大和市、東村山市、清瀬市、東久留米市）においても、社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部を市単独補助にて実施している。

交付団体等の決算予算の状況				令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算
収入	総額（千円）			0	0	0
	市補助金			-	-	-
	会費			-	-	-
	繰越金			-	-	-
	事業収入			-	-	-
	その他			-	-	-
支出	総額（千円）			0	0	0
	交際費、飲食費			-	-	-
	人件費			-	-	-
	事業経費			-	-	-
	その他			-	-	-

交付団体等の令和3年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	9,553
使途内訳	
割合（%）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—

視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		補助期間を設定しているか	<input type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	<input type="checkbox"/> 非該当
		類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	補助金交付に当たっての課題
令和3年度は、社会福祉法人恭篤会特別養護老人ホーム「むさし村山苑」施設整備費として9,553千円の補助金を交付した。なお、新規開設の公募に対する応募事業所はなかった。	—

令和4年度の方針


【今後の方向性】 拡充 現状維持 縮小・見直し 廃止・休止・終了

社会福祉法人が設置する特別養護老人ホーム等の建設費の一部の補助や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を新規開設する事業者に対する開設に係る経費の補助により、介護保険サービス基盤の充実を図り、もって高齢福祉の向上及び本市における入所待機高齢者の減少に寄与できることから現状を維持し対応していく必要がある。

成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は記入不要)

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉			
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	高齢者支援 係	内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市在宅医療・介護連携支援センター事業実施要綱			
目的	高齢者が住み慣れた地域での生活を持続していけるよう、市、地域包括支援センター、医療機関、介護サービス事業所、地域住民等の連携強化を図る。			SDGsの取組	
内容	医療と介護の連携強化を図るため、在宅医療・介護連携推進協議会及び在宅医療・介護連携支援センターの運営を行う。			3 すべての人に健康と福祉を 	

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	在宅医療・介護連携推進協議会の開催件数	件	目標		3	3
実績					2	2	
達成率					67%	67%	
2	多職種連携研修会及び専門職勉強会の開催件数	件	目標		4	4	4
				実績	4	4	
				達成率	100%	100%	


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見					
	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算						
事業費(千円)	9,788	9,919	10,514	-					
財源内訳	一般財源	1,884	1,909				2,024		
	国都支出金	5,653	5,715				6,569		
	その他	2,251	2,295				1,921		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	2,841	2,792				2,675		
	所要人員(人)	0.35	0.35				0.35		
	会計年度任用職員(千円)	0	0				0		
	所要人員(人)	0.00	0.00				0.00		
合計(事業費+人件費)	12,629	12,711	13,189						

視点別の分析	妥当性		有効性		効率性		
	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当				

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
<p>令和3年度は、継続して、地域における医療・介護資源情報を活用し、市内関係機関に情報提供を行った。</p> <p>在宅医療・介護連携に関する関係機関への相談支援では、多職種が集う研修会で事業マネジメントの基本を共有した。</p> <p>また、医療・介護関係者向けの研修会では、相談援助技術の「共感」について学ぶ機会を得た。</p> <p>その他、地域住民に正しい知識を身につけてもらうため、在宅療養をテーマとした映画のオンライン上映を行い、普及啓発を実施した。</p>	<p>オンライン上映では幅広い年齢層が視聴し、同一視聴者が複数回再生した様子も確認できたが、専門職の視聴が多く、地域住民へより一層の普及活動が必要であると考えている。</p>

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し																			
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
<p>引き続き、本市の実情に沿って、専門職が互いの専門性を理解し、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けた事業を検討する。</p> <p>在宅医療・介護連携支援センターの相談支援対応や多職種連携研修会を通して、専門職が本市の在宅医療・介護連携推進事業について十分に理解をするよう取り組む。また、新たに市内専門職に対するアンケート調査等を通し、多職種で捉えている課題の抽出、整理を行う。前述の多職種研修会やアンケート調査の実施に向けて、協議会での協議及び下部組織の推進部会での調整が重要であり、令和4年度においても予定回数の開催に臨む。</p> <p>地域住民への普及啓発については、オンライン上映を通して幅広い世代へ普及を行うとともに、アルツハイマー月間と合わせて認知症についての理解促進を図る。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上		○		維持				低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	生活支援体制整備事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	武蔵村山市機能強化型地域包括支援センター管理運営に関する要綱		
目的	各地域包括支援センターの圏域における生活支援体制整備を推進し、センター全体の機能強化を図ることを目的とする。		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	機能強化型地域包括支援センター管理運営委託により実施している。機能強化型地域包括支援センターを設置し、市内の地域包括支援センターの適正な運営の確保、生活支援体制整備業務に関する支援、市と各地域包括支援センターとの連携強化を行う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	生活支援コーディネーターの設置人数	人	目標	5	5	5
				実績	5	5	
達成率				100%	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		5,500	5,500	5,500	
財源内訳	一般財源	2,750	2,750	2,750	
	国都支出金	2,750	2,750	2,750	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,624	1,596	1,529	
	所要人員(人)	0.20	0.20	0.20	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		7,124	7,096	7,029	

視点別の分析	妥当性	市との関係は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない
効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
効果性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
効果性	施策への貢献度は適切か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
効果性	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある
効果性	類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<p>市内の地域包括支援センターを統括し、総合的に支援する機能強化型地域包括支援センターを設置することで、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進した。</p> <p>主な活動実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークの構築(159.5/人日) 小地域ケア会議・ワーキングチームの開催等 ●管内の統括・調整(58.6/人日) 助け合い部会の開催、生活支援等検討会の開催等 ●人材育成(7.1/人日) お互いさまリーダー交流会、サロン交流会、リーダー養成講座の実施等 	<p>高齢化の進展に伴う適切な人員体制の確保が課題である。</p>

令和4年度の方針																								
<p>【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了</p> <p>各地域包括支援センターに設置した生活支援コーディネーターを中心とし、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の充実を図り、住民主体の生活支援、移動支援等の体制整備を行っており、ケアマネジメントの質の向上、地域課題の発見等を進めるため、引き続き、市内の地域包括支援センターの適正な運営を確保し、機能強化を推進する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	高齢者見守り相談室運営事業				
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉				
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係	内線	632
	根拠法令等	武蔵村山市高齢者見守り相談室事業実施要綱				
目的	一人暮らし高齢者など孤立しがちな高齢者の不安や問題を解決し、在宅生活の安心と安全を確保することを目的とする。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	都営村山団地45号棟で実施している高齢者見守り相談室の運営委託主に以下の手段により事業を行う。 ①主に訪問により高齢者の生活実態の把握を行うこと ②関係機関と連携し高齢者に対する見守りを行うこと ③高齢者から相談を受けること					

評価指標	指標名	単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				1	見守り対象者名簿に登録された者に対し実際に見守りを行った件数の割合	%
			実績	85.4	88.0	
			達成率	95%	98%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費				令和2年度決算			令和3年度決算			令和4年度予算			市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)				17,453			17,453			17,453			
財源内訳	一般財源	11,467		11,467		11,467		11,467					
	国都支出金	5,986		5,986		5,986		5,986					
	その他	0		0		0		0					
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)			487		479		459					
	所要人員(人)			0.06		0.06		0.06					
	会計年度任用職員(千円)			0		0		0					
所要人員(人)			0.00		0.00		0.00						
合計(事業費+人件費)				17,940		17,932		17,912					

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か			見直しの余地がある			非該当		
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
効率性	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	
類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>	

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●相談受付件数延べ 3,181件 見守り対象者名簿に登録されている高齢者3,369人のうち、3,055人の見守り活動を行った。	緑が丘地区の高齢化率は既に50%を超えており、今後ますます進行していくことが予想されることから、事業実施体制の安定的な確保が課題となる。

令和4年度の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
高齢者福祉の質の確保のために本事業を継続し、今後の更なる高齢化の進展に備えて、引き続き事業実施体制の安定的な確保について、受託者と調整しながら検討していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead> </table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は記入不要)																						

武蔵村山市 令和4年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	認知症施策推進事業		
	施策名称	第2章 健康で明るく暮らせるまちづくり 第2節 福祉 3 高齢者福祉		
	所管部署	健康福祉 部	高齢福祉 課	地域包括ケア 係 内線 632
	根拠法令等	介護保険法、認知症施策推進総合戦略		
目的	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合いの体制づくりを推進することを目的とす		SDGsの取組 3 すべての人に健康と福祉を	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの運営 ●認知症カフェの運営支援 ●認知症サポート医研修の受講支援 ●認知症ケアパスの作成（令和4年度のみ） 			

評価指標	指標名		単位	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	1	認知症初期集中支援チームの支援件数 ※目標値は設定していない。	件	目標	—	—	—
				実績	—	4	2
達成率				—	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—	—	
			達成率	—	—	—	

事業経費		令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		290	306	1,382	
財源内訳	一般財源	56	59	267	
	国都支出金	168	177	798	
	その他	66	70	317	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,218	1,197	1,147	
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,508	1,503	2,529	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か			
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当
率性	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/>	困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当

令和3年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの支援件数 2件 ●認知症市民講演会の実施 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症初期集中支援チームの運営及び医師や専門職の活動支援の強化 ●認知症カフェ運営に係る財政的支援の強化 ●市内の認知症医療体制の充実のため、認知症サポート医の養成を支援 ●認知症ケアパスを作成し、状態に応じた適切な医療や介護サービスの普及啓発及び連携の強化

令和4年度の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 引き続き、認知症に対する正しい知識の普及啓発を行い、支援を必要とする方（支援対象者）の掘り起こしや、相談者にとっても利用しやすい制度となるよう改善を図りつつ、地域での支え合いの体制づくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							